

カチオン系ポリマーセメントモルタル

内装仕上塗材

*FUJIKAWA*オールインワン

標準施工マニュアル

富士川建材工業株式会社

INDEX

| | |
|------------------------|----|
| 1.注意事項 | |
| ・ 1 内装制限について | 2 |
| ・ 2 施工における注意事項 | 3 |
| ・ 3 改訂について | 3 |
| 2.使用材料 | |
| ・ 1 使用材料 | 4 |
| ・ 2 使用道具 | 5 |
| 3.適用下地 | |
| ・ 1 適用下地 | 6 |
| ・ 2 下地の確認と処理方法 | 6 |
| ・ 3 下地調整 | 7 |
| 4.施工手順 | |
| ・ 1 鋳磨き仕様(壁・天井) | 8 |
| ・ 2 鋳押さえ仕様(床:屋内軽歩行に限る) | 10 |
| ・ 3 トップコートの施工 | 10 |
| 5.注意事項 | 12 |

1. 注意事項

1. 内装制限について

- 「FUJIKAWA オールインワン」(以降オールインワンを記載)は下記条件内で不燃認定を取得しております。

不燃認定が必要な箇所(内装制限:壁又は天井)への施工では、下記条件を遵守してください。

| 認定番号 | NM-5497 | |
|--------|---------|--|
| 不燃認定条件 | 下地 | 平成 12 年建設省告示第 1400 号に例示されたアルミニウム及び壁土を除く不燃材料のうち、すでに化粧を施されたもの及び鉄鋼、金属板を除くもの。 例:コンクリート、繊維強化セメント板、モルタル、厚さが十二ミリメートル以上のせっこうボード(ボード用原紙の厚さが○、六ミリメートル以下のものに限る)他 |
| | オールインワン | 主材(粉体)使用量 0.7~4.0kg/m ² 且つ、塗り厚 0.5~15mm (下地調整もオールインワンを使用してください。弾性下地調整モルタルタイプⅡは使用出来ません) |
| | 添加材 | 無機質顔料又は無機質骨材とし添加範囲は、合計 0~30kg/m ² 以下 オールインワン専用顔料は次の範囲で添加可能です。 No.A-01 グレー : 「オールインワン」 主材に対して 3%以内 No.A-02 ブラック : 「オールインワン」 主材に対して 3%以内 No.A-03 ホワイト : 「オールインワン」 主材に対して 3%以内 No.A-04 ブルー : 「オールインワン」 主材に対して 0.5%以内 No.A-05 ブラウン : 「オールインワン」 主材に対して 1%以内 No.A-06 モカブラウン : 「オールインワン」 主材に対して 1.5%以内 No.A-07 ベージュ : 「オールインワン」 主材に対して 3%以内 No.A-08 パール : 「オールインワン」 主材に対して 3%以内 No.A-09 モスグリーン : 「オールインワン」 主材に対して 0.5%以内 No.A-10 グラスグリーン: 「オールインワン」 主材に対して 1.5%以内 No.A-11 イエロー : 「オールインワン」 主材に対して 3%以内 No.A-12 テラコッタ : 「オールインワン」 主材に対して 1%以内 No.A-13 サーモンピンク: 「オールインワン」 主材に対して 1.5%以内 No.A-14 コバルトブルー(特注:液体顔料): 「オールインワン」 主材に対して 0.1%以内 |
| | 吸水調整材 | 「シーレックス AP」原液で 50g/m ² 以内 例 1:富士川シーレックス AP 2 倍液(原液:水=1:1) ⇒100g/m ² 以下 例 2:富士川シーレックス AP4 倍液(原液:水=1:3) ⇒200g/m ² 以下 例 3:希釈液の組み合わせの場合 せっこうボード表面 富士川シーレックス AP 2 倍液 70g/m ² (原液 35g/m ²) +オールインワン表面 富士川シーレックス AP 4 倍液 60g/m ² (原液 15g/m ²) |

オールインワン専用顔料のグレー、ブラック、ホワイト、イエローは無機顔料です。施工性から 3%以内としています。不燃認定上は 3%以上入れられますが、施工性や耐初期乾燥ひび割れ性が低下します。その他の色は、有機分を含むため、添加量を制限しています(ブラウンとブルーを併用する場合の限度例:ブラウン 0.5%+ブルー0.25%)。

不燃認定にトップコートは入っていません。不明な点は、弊社事業所までお問合せください。

1. 注意事項

2. 施工における注意事項

- 「オールインワン」の仕上げ方法は、磨き仕上げから版築仕上げまで、1つの材料で様々な用途に使用できる、特殊ポリマーセメントモルタルです。

ご希望の仕上げ方法に合わせて、施工者が自由に顔料や骨材を添加する事が可能であり、物件毎のあるいは施工者毎のオリジナルな仕上げ提案が可能です。

そのため施工者は、施工管理者とよく打ち合わせを行い、事前に試験塗りを行ってから実施工に臨んでください。

- 本マニュアルは、施工方法の1例を示したもので、全ての現場に当てはまるとは限りません。
各施工現場では、本マニュアルでは合致できない様々な状況が考えられますので、施工者におかれましては、施工管理者(元請け)の指示により、各々の現場状況にあった施工及び管理をするようお願いいたします。
- 「オールインワン」は内装用仕上塗材です。水掛かりのある箇所や、内装用仕上塗材以外の用途には使用できません。

3. 改訂について

- この施工マニュアルは現時点での資料・データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。

2. 使用材料

1. 使用材料

■吸水調整材

| 材料名 | 荷姿 | 清水 2倍希釈の場合 | 合計液量 | 塗布面積 70g/㎡の場合 |
|--------------|------------|---------------|-------|------------------|
| 富士川シーレックス AP | 16 kg/缶 | 16 kg | 32 kg | 約 450 ㎡ |
| | 4.0 kg/ポリ瓶 | 4 kg | 8 kg | 約 110 ㎡ |

■モルタル

| 材料名 | 荷姿 | 加水量 | 練り上がり容量 | 施工面積 (ロス込み) |
|---------------------------------|---------|----------|---------|------------------|
| FUJIKAWA オールインワン | 15 kg/袋 | 約 4.0 kg | 約 10ℓ | 1.5 mm厚で約 6 ㎡ |
| FUJIKAWA オールインワン ホワイトベース(特注) | 15 kg/袋 | 約 4.0 kg | 約 10ℓ | 1.5 mm厚で約 6 ㎡ |
| 弾性下地調整モルタル type II | 25 kg/袋 | 約 5.0 kg | 約 16ℓ | 2 mm厚で約 8 ㎡ |

■顔料

| 材料名 | 荷姿 | 標準色 | 標準配合 |
|-----------------|--|---|---|
| オールインワン 専用顔料 | 150g/袋 | グレー ブラック ホワイト ブルー、 ブラウン モカブラウン ベージュ パール モスグリーン グラスグリーン イエロー テラコッタ サーモンピンク | 全14色 オールインワン 15kg/袋に対し、 オールインワン専用顔料 150g～450g混入 (1～3%/主材) コバルトブルーのみ 150g/ポリ瓶 不燃認定に関わる場合は「1.内装制 限について」を参照してください |
| | 150g/ポリ瓶 | コバルトブルー | |
| 一般市販品 | マイン等の顔料が使用可能です。事前にご確認ください。 不燃認定に関わる場合は「1.内装制限について」を参照してください | | |

2. 使用材料

1. 使用材料

■骨材

一般市販品をご利用ください。

不燃認定に関わる場合は「1.内装制限について」を参照してください。

■トップコート

| 材料名 | 荷姿 | 使用量※1 | 塗り回数 | 希釈 | 施工面積 |
|--|--|-----------------------------|------|--------------|---------------------------------|
| FUJIKAWA トップコート F※2 (つや有り・つや消し) | 500g/本 6本/箱入り | 100～130 g/m ² | 2回 | 水道水 5～10% | 約3 m ² /本 |
| FUJIKAWA トップコート F 什器・床用※ 3 (つや有り・つや消し) | 3.5kgセット (主材 3kg、硬化剤 0.5kg) 14kgセット (主材 12kg、硬化剤 2kg) | 350g/m ² | 3回 | 希釈なし | 10 m ² /3.5 kgセット |

※1 各塗回数の合計使用量です

※2 水性 1 液型アクリルシリコントップコート

※3 水性 2 液型ウレタントップコート

■その他副資材

| 材料名 | 荷姿 | 施工面積 | 特徴 | 用途 |
|------------------------------|---------------|----------------------|--------------------|----------|
| アリスグラスファイバーネット 又は TAG ネット | 1m幅×50m/巻 | 47 m ² /本 | 耐アルカリ性 ガラス繊維ネット | 全面ネット |
| SSテープ | 50mm 幅×153m/巻 | 153m | ガラス繊維メッシュ 粘着材付き | ジョイントテープ |

2. 使用道具

- ・電動ミキサー
- ・練りダル
- ・バケツ
- ・ひしゃく
- ・秤(電子天秤)
- ・計量容器
- ・ステンレスコテ
- ・刷毛
- ・コテ刷毛
- ・ローラー
- ・ローラーバケツ
- ・電源
- ・足場
- ・養生材 等

3. 適用下地と下地調整

1. 適用下地

| | | |
|---|------------------|---|
| ① | せっこうボード 壁・天井等 | 平ボード(スクエアエッジ)、V カットボード(ベベルエッジ)等 厚み 9.5 mm以上せっこうボード |
| ② | 既存ビニールクロス下地 | クロス部分に剥がれ、膨れ、下地との接着不良箇所が無いこと。 |
| ③ | コンクリート | コンクリート下地は含水率10%以下 |
| ④ | 合板 床仕様 | 厚み 12 mm以上の合板 |

2. 下地の確認と処理方法

| | | |
|---|-------------|--|
| ① | せっこうボード | せっこうボードは突付け張りし、取付けビス(釘)はステンレス製の製品又は防錆処理がされたせっこうボードビスを使用してください。取付けビス(釘)のピッチは周辺部 100 mm~150 mm、一般部 150 mm~200 mmを標準とします。 |
| ② | 既存ビニールクロス下地 | クロス部分に剥がれ及び膨れ、下地との接着不良箇所 及び汚れや付着物の無いことを確認してください。 天井との取り合い等のクロス端部は、ステンレスステーブルで固定し、クロスの浮きがある場合は、浮き部分に切り込みを入れ、クロス用のノリで固定し、完全に乾いてから次工程に移ってください。 |
| ③ | コンクリート | コンクリート面は、目違・ジャンカ・巣穴及び凸凹部・欠損部等は、事前に樹脂入りモルタルまたはオールインワンで、不陸の無いように全面補修してください。 |
| ④ | 合板 床仕様 | 合板は突付け張りし、取付けビスはステンレス製の製品を使用してください。あばれのない様に、確実に固定してください。 事前にアク止め処理を行ってください。 |

3. 適用下地と下地調整

3. 下地調整

| | | |
|---|-------------|---|
| ① | せっこうボード | <p>「富士川シーレックス AP」2 倍希釈液(70g/m²:2 回塗り)にて吸水調整を行ってください(せっこうボードはアルカリ性に弱いいため直接塗れません)。</p> <p>乾燥確認(手でさわって湿り気が無い状態)後、ボードのジョイント及び出隅入隅部分に SS テープを貼付けてください。</p> <p>所定の配合にて混練りした弾性下地調整モルタルタイプ II を、約 2.0 mm 厚に塗付けます。塗付けはコテ圧を掛けて下ごすりを行い追掛け所定の厚さに仕上げます。</p> <p>V ボードの場合は、少し固めに混練りした弾性下地調整モルタルタイプ II を、ジョイントに充填してから、ジョイント部分が乾く前に、追っかけ全面塗りを行ってください。</p> <p>不燃認定に関わる場合は、弾性下地調整モルタルタイプ II ではなくオールインワンを使用してください。</p> <p>オールインワンの仕上げ厚が薄い場合、下塗りの状態を反映致します。ご注意ください。</p> |
| ② | 既存ビニールクロス下地 | <p>「富士川シーレックス AP」2 倍液にて吸水調整を行ってください。</p> <p>「富士川シーレックス AP」の乾燥確認(手でさわって湿り気が無い状態)後、所定の配合にて混練りした弾性下地調整モルタルタイプ II を、約 2.0 mm 厚に塗付けます。塗付けはコテ圧を掛けて下ごすりを行い、追掛け所定の厚さに仕上げます。</p> <p>オールインワンの仕上げ厚が薄い場合、下塗りの状態を反映致します。ご注意ください。</p> |
| ③ | コンクリート | <p>「富士川シーレックス AP」4 倍希釈液(100g/m²:2 回塗り)にて吸水調整を行ってください。</p> <p>不陸調整が必要な場合は、「富士川シーレックス AP」の乾燥確認(手でさわって湿り気が無い状態)後、所定の配合にて混練りした弾性下地調整モルタルタイプ II を、約 2.0 mm 厚に下塗ります。塗付けはコテ圧を掛けて下ごすりを行い、追掛け所定の厚さに仕上げます。</p> <p>オールインワンの仕上げ厚が薄い場合、下塗りの状態を反映致します。ご注意ください。</p> |
| ④ | 合板床仕様 | <p>合板のジョイント部及び出隅・入隅にはジョイントテープを貼り付けますが、床の使用頻度等によってグラスファイバーネットの全面貼りを施してしてください。</p> <p>「富士川シーレックス AP」2 倍液(2 回塗り。アク止めシーラーが施工されている場合は 1 回塗り)にて吸水調整を行ってください。</p> <p>「富士川シーレックス AP」乾燥確認(手でさわって湿り気が無い状態)後、所定の配合にて混練りした、弾性下地調整用モルタル TYPE II を、塗厚 1.5~2.0 mm 程度塗付けます。塗付けはコテ圧を掛けて下ごすりを行い追掛け所定の厚さに仕上げます。グラスファイバーネットの全面貼りは弾性下地調整用モルタル TYPE II に伏せこんでください。</p> <p>オールインワン上塗り時に、弾性下地調整用モルタル TYPE II の状態を反映致しますので、ご注意ください。</p> |

4. 施工手順

- 関係者は事前に打ち合わせを行い、工程、施工管理の確認を行ってください。
- 工期は塗り面積、人数、作業条件、気象条件等を考慮し、施工前に打ち合わせをし、無理のない工程としてください。

1. コテ磨き仕様(壁・天井)



■オールインワンの塗り付け

| | | |
|---|------------------------|--|
| ① | 吸水調整材の塗布 | 富士川シーレックス AP 4 倍希釈液(重量比 原液:水=1:3) 刷毛又はローラーにて2回塗布(60g/㎡)して下さい。 その際1回目の塗布の乾燥を確認後、2回目を塗布して下さい。 |
| | | 乾燥後(手でさわって湿り気が無い状態:20℃、2時間以上) |
| ② | オールインワンの混練り | 電動ハンドミキサーを使用し、容器でオールインワンと顔料を混ぜ合わせる。 徐々に水を加え、混練りする。 練りダルの底や、電動ミキサーの羽に付着した材料を綺麗に落とし、均一になるように再度混練りする(合計攪拌時間:3分目安)。 少し固めに練った後、加水調整するのが良い。 |
| ③ | オールインワンの下塗り | 混練りしたオールインワンを、コテ圧を掛けながら下ごすりし、追掛け骨材が転がらない程度の厚さ(0.8mm程度)にランダムに塗付ける。 (コテ押さえ仕上げの場合はなるべく平滑に塗る) |
| ④ | オールインワンの混練り | ②にて混練りしたオールインワンよりも、やや緩め(規定量より5%程度多めの添加水を混入)に水を加え、②同様に混練りする。 |
| | | ③の下塗りが動かなくなるまで放置(20℃:10~20分程度) |
| ⑤ | オールインワン 仕上げしごき塗りの施工 | ③にて凸部を押えたオールインワンの面に、④で混練りしたオールインワンを塗りつける。 凸部よりやや厚め(0.3mm程度)に、均一に塗付けながら平滑に押える。 ステンレスコテ(0.3mm厚程度)を使用してください。 (コテ押さえ仕上げの場合は「トップコート塗り(オプション:推奨仕様)」に進む) |
| | | 20℃:20~40分程度放置 |
| ⑥ | オールインワン 仕上げコテ磨きの施工 | ムラが必要な場合は、⑤にて平滑に押えたオールインワンの表面を、ステンレスコテ(0.3mm厚程度)を使用して、鏝を回すように磨いてください。 |

4. 施工手順

2. コテ押さえ仕様(床:屋内軽歩行に限る)

■オールインワンの塗り付け

| | |
|---|--|
| ① | <p>3-3-④「下地調整」の、弾性下地調整用モルタル TYPE II 塗り付け後、当日施工します。 翌日以降になる場合は、富士川シーレックス AP 4 倍希釈液(重量比 原液:水=1:3) 刷毛又はローラーにて 2 回塗布(60g/m²)して下さい。 その際 1 回目の塗布の乾燥を確認後、2 回目を塗布して下さい。</p> |
|  | |
| <p>弾性下地調整用モルタル TYPE II を、スリッパ等上履きで乗れる状態まで乾燥させる。 20℃:2時間以上</p> | |
| ② | <p>オールインワンの混練り</p> <p>電動ハンドミキサーを使用し、容器でオールインワンと顔料を混ぜ合わせる。 徐々に水を加え、混練りする。 練りダルの底や、電動ミキサーの羽に付着した材料を綺麗に落とし、均一になるように再度混練りする(合計攪拌時間:3分目安)。 少し固めに練った後、加水調整するのが良い。</p> |
|  | |
| ③ | <p>オールインワンの施工</p> <p>所定の配合にて混練りしたオールインワンを、コテ圧を掛けながら下ごすりを行い、追掛け所定の厚さ 1.0 mm 程度で、平滑に塗り、押さえる。 ステンレスコテ(0.3mm 厚程度)を使用してください。</p> |

4. 施工手順

3. トップコート塗り(オプション:推奨仕様)

① FUJIKAWA トップコートF(つや消し/つや有り)

オールインワン施工翌日以降、オールインワンが乾燥したのを確認してから、下記工程に進んでください。

| | | |
|---|----------|---|
| ① | 吸水調整材の塗布 | 富士川シーレックス AP 3 倍希釈液(重量比 原液:水=1:2) 刷毛又はローラーにて 1 回塗布して下さい。 |
|---|----------|---|



乾燥後(手でさわって湿り気が無い状態:20°C、2 時間以上)

| ② | FUJIKAWA トップコートF (つや消し又はつや有り) | 希釈 | 塗り回数 | 塗布方法 | 使用量 | 施工面積 |
|---|----------------------------------|--------------|------|------------|-------------------------|-----------------------|
| | | 水道水 5~10% | 2 回 | ローラー 刷毛 | 100~130g/m ² | 約 3 m ² /本 |

※ FUJIKAWA トップコートF についての注意事項

- ・ 不燃認定対象外です(不燃認定にトップコートは入っていません)。
- ・ 水性 1 液型アクリルシリコンエマルジョンです。
- ・ 一液型のため、アルコール等を付けてこすると、FUJIKAWA トップコートF が拭き取られる事があります。
- ・ 醤油、洗剤などは時間と共にシミになりますので、直ちにふき取ってください。
- ・ つや消しは、乾燥が遅くなるとつやが出やすくなります。換気をよくし、乾かしてください。
- ・ 高いpH の下地に FUJIKAWA トップコートF を塗ると、黄色く変色することがあります。吸水調整後の表面のpH が 10 以下にさがったのを確認してから塗布してください。また必ず吸水調整材を使用してください。

参考測定結果:コテ押さえ仕様(気温 23°C、湿度 50%環境下)で塗り付け翌日の、オールインワン表面のpH は 12 であった。吸水調整材塗布後の表面pH は 10 であった。

4. 施工手順

3. トップコート塗り(オプション:推奨仕様)

② FUJIKAWA トップコート F 仕器・床用(つや消し/つや有り)

オールインワン施工翌日以降、オールインワンが乾燥したのを確認してから、下記工程に進んでください。

| | | |
|---|----------|---|
| ① | 吸水調整材の塗布 | 富士川シーレックス AP 3 倍希釈液(重量比 原液:水=1:2) 刷毛又はローラーにて 1 回塗布して下さい。 |
|---|----------|---|



乾燥後(手でさわって湿り気が無い状態:20℃、2 時間以上)

| ② | FUJIKAWA トップコート F 仕器・床用 | 希釈 | 塗り回数 | 塗布方法 | 使用量 | 上塗り可能時間 (23℃) |
|---|----------------------------|------|------|--------------|----------------------------------|------------------|
| | | 希釈なし | 3 回 | 短毛ローラー 刷毛 | 350g/m ² (3 回塗り合計) | 2~48 時間 |

※ FUJIKAWA トップコート F 仕器・床用についての注意事項

- ・ 不燃認定対象外です(不燃認定にトップコートは入っていません)。
- ・ 水性 2 液型ウレタントップコートです。
- ・ 2 液反応硬化型ですので、配合比を厳守してください。A 液、B 液を規定の割合(重量比 6:1)で計量、混合し、十分に攪拌してください。
- ・ A 液、B 液混合後、2 時間以内に使用してください。2 時間を超えたものは塗膜に欠陥を生じるため、使用しないでください。
- ・ 他の容器に移す場合は、プラスチック容器を使用してください。
- ・ 高い含水率・pH の下地に施工すると、フクレ・硬化不良・密着不良を招く場合があります。含水率 5% 以下且つ、pH が 9.5 以下にさがったのを確認してから塗布してください。

参考測定結果:コテ押さえ仕様(気温 23℃、湿度 50%環境下)で塗り付け翌日の、オールインワン表面の pH は 12 であった。吸水調整材塗布後の表面 pH は 10 であった。

- ・ 吸水調整材は、必ず使用してください。
- ・ 規定の塗布量を守ってください。
- ・ 床暖房面には使用できません。剥離する場合があります。
- ・ タイヤ等のゴム製品が長時間接触していると、塗膜の汚染や剥離が生じる場合があります。
- ・ 気温 5℃ 以下、湿度 80% 以上では施工しないでください。

| | | |
|---------------------------------|---------------|------------------------------|
| 10℃ 以下 硬化後退 (カブリ、しわ、軟化発生) | 15℃~25℃ 最適 | 30℃ 以上 硬化促進 (ポットライフ短縮) |
|---------------------------------|---------------|------------------------------|

- ・ 施工環境が悪い場合(低温時、換気が十分でない室内)、塗膜性能に影響します。窓・ドアを開放したり、送風機等を使用したりして、換気を良くしてください。
- ・ 施工時には引火、爆発、中毒等の事故防止のため、十分な換気をし、発火原因となる電気溶接、ガス溶断との並行作業をさけてください。
- ・ 直接皮膚に触れないように十分に注意してください。皮膚についた場合はウェス等で十分にふき取り、中性洗剤で洗ってください。
- ・ 使用前に SDS を確認してください。
- ・ 保管は、火気凍結を避け、消防法・労働安全衛生法その他基準に基づき十分な管理をお願いします。
- ・ クリヤー層の摩耗によって、下地の艶が露出する可能性が有ります。また、使用頻度により継時で艶が発生する事があります。

5. 注意事項

安全上の注意

- ◎SDSを確認し、理解してから使用してください。
- ◎取り扱い中はできるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて保護具を着用してください。
- ◎皮膚に付着した場合は清浄な水で十分に洗い流してください。
- ◎目に入った場合は、ただちに清浄な水で目を洗浄した後、直ちに眼科医の手当を受けてください。
- ◎粉塵等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- ◎飲み込んだ場合は清浄な水で口の中をよく洗浄し、直ちに医師の手当を受けてください。
- ◎取り扱い後は手洗い及びうがいを十分行ってください。
- ◎飛散した材料は、掃除機等で吸い取って回収してください。
- ◎子供の手の届かないところに保管してください。

使用上の注意

- ◎オールインワンは内装用仕上塗材です。外部等他の用途には使用しないでください。
- ◎施工前に必ず試し塗りを行ってください。
- ◎撥水性の下地、耐アルカリ性の無い下地は、接着しない可能性があります。
- ◎気温 5℃以下での施工は作業を中止するか適切な保温措置をとってください。
- ◎練り混ぜた材料(モルタル)は加水後 1 時間以内に使用し、練り足しは避けてください。
- ◎練り水、容器、攪拌機などはきれいなものを使用してください。
- ◎工事中は、周辺の部材及び仕上げ面を汚損しないよう、養生テープ等にて養生を行ってください。万一付着した場合は水で洗浄してください。
- ◎養生は仕上げ作業終了後、出来るだけ早急に除去してください。取り除きにくい箇所はカッター等を使用し取り除いてください。
- ◎使用後の器具は、お湯または水にて洗浄してください。
- ◎ロットにより多少色のバラツキがあります。
- ◎各工程において、粉塵、ゴミ、油分などの付着物を除去してから、各々の施工に進んでください。
- ◎FUJIKAWA トップコート F 什器・床用(つや消し/つや有り)は、セット重量に対して 3.5%の加水(3.5kg セットで 140ml、14kg セットで 500ml)が可能ですが、加水すると反応ガス(二酸化炭素)が発生します。反応ガスの影響で密閉した容器が膨張し、内容物が噴出する恐れがありますので、全量使い切ってください。廃棄の際は、穴をあけておくか、蓋をせずに廃棄してください。加水する場合は、B 液を A 液にいれ、空いた B 液の容器に水を入れよく振り、A 液に入れてください。その後しっかり蓋をし、A 液の缶を逆さまに 15 回、元に戻して 15 回計 30 回良く振ります。缶の天板を皮すき等で切ってご使用ください。

保管上の注意

- ◎水濡れ禁止。
- ◎製品の保管は湿気の少ない場所にパレットなどを敷き、床面より離してください。
- ◎液体製品は、5℃以下、40℃以上を避け、直射日光や熱源をさけてください。
- ◎開封した材料は早めに使い切ってください。
- ◎オールインワンは、製造年月日より 6 ヶ月以内に使用してください。

輸送上の注意

- ◎紙袋の破れ、落下がないように荷崩れ防止等に配慮してください。
- ◎降雨等の水ぬれに配慮してください。

廃棄上の注意

- ◎都道府県条例に基づき処理するか、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託してください。

その他

- ◎その他各製品包装などに記載の注意事項に従ってください。
- ◎不明な点は弊社事業所までお問い合わせください。

本施工マニュアルは、標準的な施工方法を示したもので、全ての現場に当てはまるとは限りません。各施工現場では、本施工マニュアルでは合致できない様々な状況が考えられますので、施工業者様におかれましては、各々の現場状況にあった施工及び管理をお願いいたします。

本記載内容は現時点での資料・データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。使用にあたっては最新版であるかを確認してください。

---モノづくりから仕事づくりへ---



富士川建材工業株式会社

URL <https://fujikawakenzai.co.jp/>

e-mail: mail@fujikawakenzai.co.jp

| | | | | |
|------------|------------|------------------|------------------|------------------|
| 本社・本社工場 | 〒 236-0002 | 横浜市金沢区鳥浜町13番地 | TEL 045-772-1811 | Fax 045-772-0467 |
| 横浜支店 | 〒 236-0002 | 横浜市金沢区鳥浜町13番地 | TEL 045-769-2326 | Fax 045-773-1315 |
| 東京支店 | 〒 236-0002 | 横浜市金沢区鳥浜町13番地 | TEL 045-772-1813 | Fax 045-772-1940 |
| 名古屋支店 | 〒 486-0952 | 愛知県春日井市追進町1-43 | TEL 0568-35-5670 | Fax 0568-33-5740 |
| 大阪支店 | 〒 567-0854 | 大阪府茨木市真砂2-12-1 | TEL 072-630-6511 | Fax 072-638-8766 |
| ルルーティ古川 1F | | | | |
| 広島事業所 | 〒 733-0832 | 広島市西区草津港2-4-19 | TEL 082-270-0097 | Fax 082-277-0422 |
| 福岡事業所 | 〒 812-0016 | 福岡市博多区博多駅南4-2-10 | TEL 092-284-2197 | Fax 092-284-2093 |

南近代ビル6F